

副園長日記

R4.1 2.20



素敵な笑顔にあふれた1年でした

12月もあとわずか。新しい年をむかえようとしています。今年も附属幼稚園には、素敵な笑顔がいっぱいあふれていました。

年少さんにダンゴムシを見せたくて、植木鉢を持ち上げる年長さん。前日の降園後に先生たちがほぐした砂場を見つけて、「もぐらさんがきたのかな」とのぞきに行く年少さん。チヨウチヨを捕まえたくて、何十分も園庭を走り回っている年中さん。目をキラキラとさせて楽しかったことを話してくれる姿はとっても素敵でした。

先生たちの笑顔も素敵でした。子どもたちがワクワクするような製作をしたくて、いろいろな物を作っては「かわいい！見てみて！」と喜んでいる先生。ごっこ遊びに誰よりも夢中になって、子どもたちと一緒に変身しちゃう先生。子どもたちにいっぱい落ち葉をかけてもらって落ち葉の山に埋もれて見えなくなっちゃう先生。



「遊びは学び」をテーマに子どもが満足いくまで遊びきることができる保育を目指して日々取り組んでいます。子どもたちが遊びきるには、まずは先生たちがその遊びのおもしろさを感じて、思いっきり楽しむことが大切です。

附属幼稚園の先生たちは、本当に感心するほど全力で遊んでいます。そのパワーはいったいどこから生まれてくるのか。子どもたちが大好きだからこそ、こうやって毎日がんばれるのだと思います。担任や私がかメラを向けた先は、はちきれそう



な笑顔の子どもたちと先生たちの姿が広がっています。

先日、他県の附属幼稚園の先生から素敵な言葉を教えてもらいました。顔が晴れると書いて、「顔晴る（がんばる）。」

来年もまた、子どもたちも先生たちも「顔晴る」1年にしたいですね。



わあ、つかまっちゃった！
手品師さん、助けてくださ
い！

見て見て！
すごい色になったよ！



落ち葉のベッド
気持ちいいね！



????
誰？



そうやって くっつけたら
いいんだ！